

市民と市長の対話集会

「つながるまち小郡」を語ろう！

会 議 録（要約）

市長あいさつ

市長あいさつ

加地市長： 皆様こんばんは。今日は、市民と市長の対話集会、「つながるまち小郡を語ろう」にお越しいただきありがとうございます。

「つながるまち小郡」は私が市政の中でめざすべきフレーズとして使っているものです。住民の皆さんには行政への多様なサービスへのご期待があり、一方で各地域には非常に難しい地域課題、解決がなかなかできない問題も横たわっています。一方では、まちの将来を皆で作っていかねばなりません。市民の皆さん同士がつながっていく、そして行政もつながることによって、一緒に地域の問題、市の問題について考えていく。あるいは民間の方々ともつながることによって色んな可能性を皆で見つけ出していく、一緒に問題を解決していく、それが「つながるまち小郡」です。

その基本になることとして、私は「対話」を重視しています。対話にあたっては、私たちの意見を皆さんへ一方的に情報提供するのではなく、情報提供する中でそれぞれの考え方の違いを認め合いながら、そこに合意点はどこにあるのか、どんなふうにしたら皆さんが同じ方向に向かって動けるかなということをやっていく時間、またこうやって顔を見ながらお話しさせていただくことがとても大事だと思っています。

これまでも各中学校区、あるいは、まち協の皆さん、区長の皆さん、様々な場面で対話を進めてきました。最近では、車座トーク、出前トークというものを作りまして、皆さんの話を直に聞かせていただき、皆さんにも今、市で起こっていることを説明させていただきます。そんな時間を大事にしているところです。対話が基本です。

そうした中で行政を進めてきていますが、その中の一つ、市の事業の内容を皆さんに知っていただきたいということもあって、「サービスチェック」をやってきました。これまでに2回、今年は7月に開催しました。小郡市が行っている事業について、担当者が皆さんに「今、このようにやっていますよ」という思いを語りながら、地域の代表の方々、あるいは専門家の方々、他の自治体の方にも説明してその評価を聞かせていただく。これはもうちょっとこんなやり方があるんじゃないかな、自分のまちではこんなことをやっているよ、これはちょっと無駄じゃないかなということも含めてご意見をいただく機会を作りまして、今年は24の事業について、ご意見を伺っています。

今日はその中から2つのテーマについて報告し、今度は皆さんからご意見をいただきながら、私が最終的に来年度以降、どのようにするかという方針を決定する中の大事な要素にさせていただきたいと思っています。つまり、この会自体が大事な政策を決める過程の中の1つだということです。こういうことを繰り返しながら政策運営をしていきたいと思っています。どうぞ忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。